

# stories

広報 かわねほんちょう



special edition

# 大規模災害に 屈しない

愛する人を守るため  
愛する古里を守るため  
わたしたちには今、  
できることがあります

地域を守る使命感

火点を見据える消防団員  
平成21年度川根本町消防団秋季演習にて

2009

12

No.50

まちの頼れるお母さん

行政相談委員15年の功績により総務大臣表彰を受賞した

渡邊妙子さん（八中）

行政に関する相談以外にも

今年、県内の行政相談委員で総務大臣表彰を受けたのは2人その一人が渡邊妙子さんだ。行政相談とは、道路や年金など生活に密着した行政に関する相談ごとを受け、役場などに伝えて解決を図る制度。その窓口が行政相談委員だ。しかし、相談ごととは行政の話にとどまらな

てきたんです。最近、皆さんがいると相談してくれるのは、少しずつ身近になってきた証。今後は、子どもでも気軽に相談できるような窓口にしていきたいと思っています。活動の一つに「行政相談出前教室」がある。子どもたちに、行政相談について興味や親しみを持ってもらうために企画された課外授業だ。妙子さんと中村とし子さん（前相談員）が講師となり、実例を交えながら制度の内容を説明する。昨年本小で開かれた初の教室では、児童から活発な質問が飛び出し大好評だった。授業後の感想でも「とても分かりやすくてためになった」「僕たちも制度を利用してどんどん提案していきたい」などの声が上がった。

行政相談に限らず、どんな相談でも大事なのは「信頼関係」だと妙子さんは言う。「皆さんが信頼してくれるから、この制度が成り立っているんです。身近に感じられると同時に、絶対信頼をそこねちゃいけない。皆さんの意見に精一杯応えることがわたしの務めなの」。やさしい笑顔とは裏腹に、その言葉は力強い。

「この町の人は、みんないい人なんです。ほかのどこよりこの町が好き。わたしはもっと、ここで自分にできることで貢献していきたい。この町の素晴らしさを、町内にも町外の人にも伝えたいと思っています」。まちの頼れるお母さん。失礼かもしれないけれど、親しみを込めてそう呼ばせてもらいたい。

のまちのひと

KONOMACHIKI・KONOHITO

消防団員と協力してテントを設営する地域の中学生。東海地震など大規模災害時には、さまざまな人が力を合わせ、困難に立ち向かうことが大事だ 9月1日総合防災訓練



special edition

# 大規模災害に屈しない

「災害列島」と呼ばれる日本  
毎年のように到来する大型台風や集中豪雨  
阪神淡路大震災・新潟県中越地震などの大規模地震  
そんな大自然の猛威は、  
ときとして簡単に人の命を奪い去り、  
大切な財産を跡形もなく失わせてしまう  
わたしたちは学ばなければならない  
いつか必ず起こる大規模災害に、立ち向かわなければならない  
今、わたしたちにできることは何なのか



総務大臣賞受賞を佐藤町長に報告した渡邊妙子さん

### あなたの身近に「行政相談」

年金・河川・道路管理など、国の仕事やその手続き・サービスについて「困っていることがある」「こうしてほしい」「どこに相談したら良いか分からない」…。行政に関する意見や相談を聞き、解決の促進を図るのが行政相談です。そして皆さんの身近な窓口になるのが行政相談委員と呼ばれる人たちです。総務大臣が特にお願いした民間の有識者で、本町には2人の委員がいます。相談は無料、秘密は厳守します。些細なことでも構いませんので、気軽にご相談ください。

【問】静岡行政評価事務所 ☎0570 (090) 110  
役場総務課 ☎(56) 2220



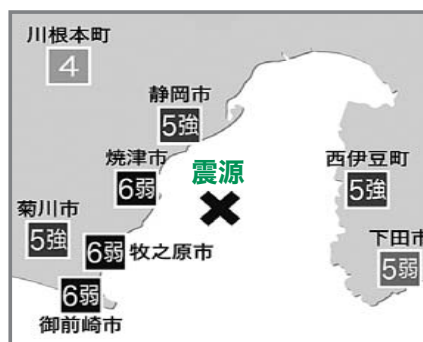
8月11日の地震で崩落した寸又峡プロムナード  
コーヌの現場。早急に復旧対策が施された

8月11日、午前5時7分  
大地が震えた  
眠っていた身体を激しい揺れが突き抜ける  
家がミシミシと悲鳴を上げる  
うす暗い部屋の中で気は動転、  
何も考えられない自分がいた  
不安と恐怖の中、布団の中でうずくまり、  
揺れがおさまるのを、ひたすら  
祈ることしかできなかった

# まちを襲った震度4

**県沿岸部で被害多発**  
人的 県内では、静岡市で部屋に積まれた本などが崩れ、埋もれて窒息した人が唯一の犠牲者となった。焼津市や牧之原市では、骨折など重傷を負う被害も発生している。  
**ライフライン** 水道に大きな被害が発生した。県内では5万7371戸が断水。牧之原市や掛川市のおよそ2万8500戸では、長時間にわたり断水が続いた。  
建物 県内では半壊3棟、3

**本町の被害は**  
県内で被害が多発したこの地震。本町は震度4を記録した。県道や町道などに数カ所、小規模な土砂崩落が発生したほか、寸又峡プロムナードコースでも法面が崩落し、一時通行不能となったが、早急に復旧工事が施された。



▲8月11日地震の震源および主に沿岸部の震度を抜粋したもの ▶地震の概要

震 央	静岡県 北緯34度47.1分 東経138度29.9分
震源の深さ	23km
規 模	マグニチュード6.5
最大震度	震度6弱：伊豆市、焼津市、 牧之原市、御前崎市
津 波	0.4メートル：御前崎港 0.3メートル：焼津漁港
死傷者数	死者1人 負傷者180人 (2009年8月18日午後4時現在)

## 地震の概略

御前崎市の北東35キロメートル沖の駿河湾海底を震源とする8月11日に発生した地震。震源の深さは23キロ、地震の規模を表すマグニチュードは6.5、最大震度は6弱を記録し、沿岸部の御前崎港、焼津漁港には津波も到達した。この地震で史上初めて、「東海地震観測情報（新基準で）」が発令。地震防災対策強化地域判定会委員打ち合せ会のメンバーが緊急招集された。検討した結果、「想定される東海地震に結びつくものではない」と結論づけ、報道機関に向けて発表された。

340棟が一部損壊した。しかし、最大震度6弱という大きな地震だったにもかかわらず、全壊した家屋はなかった。その理由としては、東海地震に備えた耐震対策「TOUKA110」を積極的に推進した成果が挙げられる。また県内の家具の固定化率が63%に達するなど、家屋の耐震対策が他県より進んでいることが、被害を最小限にとどめた要因ではとみられている。  
**交通** 東名高速道路の相良牧之原インターと菊川インターの本線車道に5〜10%の段差が発生したほか、牧之原サービスエリア付近では約40%に渡って道路が崩落。上り線の追越車線や下り線の路面全体に亀裂が生じた。この崩落は、地形や地震強度、大雨など複数の要因が重なって発生したものと見られている。

# 残る つめめ跡

第1章

大自然の驚異は、いつもわたしたちのそばにある

東海地震を思わせた8月11日の激しい揺れ  
10月、日本を縦断した台風18号の暴風雨  
災害はいつも、大きな大きなつめ跡を残して去っていく  
物的な被害はもとより、人々に「恐怖心」まで植え付けて  
これら災害の教訓から学びとるために  
防災を「忘災」にしないために  
今年、本町を襲った2つの災害を振り返る

10月8日の台風18号の影響で、倒れてしまった広葉樹。根元から折れ、電線を巻き込んで道路をふさいだ（国道362号・瀬平）

# 震度6弱はこしょうになる



地震の衝撃で半壊してしまった木造家屋。幸いにも住人に被害はなかった。しかし、ここにこのまま住むことはもうできない。  
(写真提供：牧之原市)



2枚の写真を見てほしい。  
8・11の地震で震度6弱を記録し  
広範囲に被害が発生した御前崎市と牧之原市のもようである  
2市を襲った揺れは、家屋、道路、水道など  
生活に密着した部分に、多大な影響をおよぼした  
震度6弱は、東海地震が発生した際の「本町想定震度」  
この写真に映し出される悲惨な光景は、  
決して「対岸の火事」ではない

激しい揺れに絶えきれず、すべてなぎ倒されてしまったブロック塀。  
奥にあるガスボンベが破損していたら、大惨事になっていた可能性も。  
(写真提供：御前崎市)

## 震度6弱をレポート 2市の市職員に聞く



家中の耐震対策や、被災時の行動などを考え直す必要があります

牧之原市役所  
秘書広報室

加藤浩長さん

**子どもを抱えうずくまった**  
わたしは地震発生瞬間、妻の大きな声で目が覚めました。驚きと不安の中で、0歳の子どもを抱えたまま、ただ揺れが収まるのをやり過ごすことしかできませんでした。  
揺れが収まり、わたしはようやく落ち着きを取り戻し、部屋の中を見渡してみました。  
大きな家具には突っ張り棒を装着してあったので、幸い転倒だけは免れていました。しかしそれでも、数10センチも移動した形跡があり、地震の激しさを物語っているように思いました。  
棚の上に置いてあった物は床に

落ち、足の踏み場もないくらい散乱していました。  
電話機の横に水槽が置いてあったんですが、地震の衝撃でポンプが床に落ち、水がかかった電話機はもう使えなくなっていました。  
家族の安否や家の状況を確認したあと役所に登庁しました。役所に向かう途中では、屋根瓦が落ちた家がたくさんあり、多くの人が道路に出て、自分の家を見上げていました。昔ながらの瓦屋根の家が被害が大きいと感じました。屋根の応急処置として、ブルーシートが使用されましたが、市で備蓄している量だけでは全然足りませんでした。量販店では、すぐに売り切れてしまう状態でした。  
また役所では、断水への対応に追われていました。静岡市や消防署が給水車を派遣してくれましたが、断水地区は広範囲にわたっており、復旧に時間がかかりました。  
**耐震対策を見直さなければ**  
「もしこれが東海地震だったとしたら...」。わたしはそう思わずにはいられません。「家具の固定だけではダメだ」と、つくづく痛感したのです。もう一度、家中の耐震対策や、被災時の行動などについて、家族で話し合う必要があると思っています。

## 震度6弱をレポート 2市の市職員に聞く



大切な人を守るため自分に何ができるだろうと考えています

御前崎市役所  
秘書広報課

山崎良さん

**突然の揺れに、ただ呆然と**  
地震発生当時、わたしは暑さで目が覚め、うとうととしていました。そこを突然大きな衝撃に襲われたのです。  
横揺れの激しさに、家が音を立ててきしみ、わたしはただベッドにしがみついて耐えることしかできませんでした。揺れが収まっても頭はパニックのまま。しばらくは呆然としていました。  
静岡市の実家に帰省中だった妻から「こっちは大丈夫。子どもも無事」という連絡が入り、ようやく

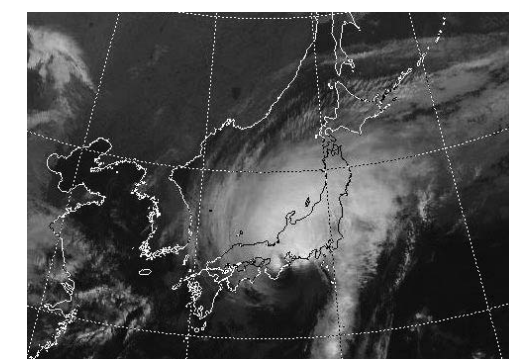
くわれに帰りました。  
家の中には、冷蔵庫が約30センチも動き、写真立てはすべて棚から落ちていました。食器棚の中の食器も割れていました。  
急いで市役所に登庁すると、そこは電話の嵐。報道機関や市民から、問い合わせや相談が殺到していました。  
被害の状況調査に向くと、瓦が落ちてしまった家や、崩れてしまった茶畑、舗装が割れ路肩が決壊している道路など、被害は市内各所に広がっていました。  
特に被害がひどかった地区の人に話を聞くと、「家が歪んでしまい、玄関の扉が開かなくなってしまった。あと数10秒揺れが続けば、家は崩れていたかもしれない」と話していました。  
**人々の心に植え付けた恐怖**  
8月の地震は、わたしたちの心に「大地震への恐怖」を植え付けました。今でも、強風で家がきしむたびに「東海地震か？」と身構えてしまうほどです。災害時、大切な人を守るために何ができるのだろうと、常に考える日々が続いています。



① 国道362号瀬平～久保尾間の倒木被害。この下では林道西又線でも大きな被害が発生した ② 文沢・吉町河内地区の林道の倒木。この路線は生活道路として使われる重要な道。復旧するまでの半日間、奥の集落は孤立 ③ 久野脇地区に向かう路線では路肩の決壊も発生。その様子を道行く人が呆然とながめていた

ここ10年間で最大規模の台風18号が日本列島を直撃九州や四国、本州を暴風域に巻き込み各地に大きな被害を残しながら北へ抜けたこの18号は本町にも深いつめ跡を残した家屋やライフラインに被害が発生特に、道路におよぼす影響が大きかった倒木や路肩決壊で通行不能となる箇所が多発災害時、孤立集落発生の可能性を浮き彫りにした

# 猛り狂う 大型台風の脅威



列島を覆い尽くした大型台風18号・8日午前3時

## 18号の概要

非常に強い勢力を持った台風18号は10月8日午前5時過ぎ、強い勢力を維持したまま愛知県知多半島付近に上陸し、東海地方から関東甲信地方を中心に激しい雨を降らせた。降り始めの5日午前6時から8日12時までの総降水量は、東海地方や関東甲信地方の各地で200ミリを超え、三重県松阪市粥見で300ミリを記録した。また8日には、三重県伊賀市上野で155・5ミリの最大24時間降水量が観測されている。この18号の影響により人的被害も発生している。兵庫県で1人、和歌山県で1人、埼玉県で3人、宮城県で1人の命が失われた。また負傷者の数は127人にのぼった。

## 県内各地で被害が続出

18号の被害は県内各地でも続出した。近隣の島田市では、自宅屋根を点検していた男性が足を踏み外して落下、軽傷を負った。そのほかにも倒木や電柱が倒れる、作業小屋の屋根が飛ぶといった被害も発生している。倒木が道路をふさぎ、通行止めになる箇所もあった。停電による被害も大きく、島田市内で3、100戸が停電した。

## 本町では倒木被害多く

町内では電線がショートし、300戸が停電した。早朝に吹いた激しい風により、倒木が多く発生したためだ。このほかにも農機具小屋が破損する、住宅の屋根瓦が落ちるなどの被害も発生している。大井川鉄道は計31本が運休、町営バスなど公共交通機関も運行を見合わせた。小中学校などでは臨時休校の処置を執った。

なかでも道路への被害がひどかった。国道、県道、町道、林道など、倒木が道路をふさぎ、通行不能になる被害が多

## 自分の地区が孤立した場合、何をすべきか考えてみてほしい

今回の台風では、倒木が道路をふさいだり、路肩が一部損壊したりして車両が通行できない箇所が数カ所発生し、復旧を急いでいます。こういった大規模な災害では、道路が寸断され、孤立するかもしれない集落が島田土木事務所管内には多くあります。道路が2カ所（主要道路と迂回路）寸断されるだけで、完全に孤立する場所があるというのは、とても恐ろしいことです。土木事務所では、道路の整備など全力で進めていますが、財源には限りがあります。近年では台風などの豪雨も多く、すべての要望にお応えするのは難しい状況です。大災害が発生した場合、ご自分が住んでいる地域ではどんな事態が起こりうるのか、皆さんも考えてもらえたらと思います。



島田土木事務所川根支所 井倉基 主任

発。また一部の道路では路肩が決壊し、バリケードが張り巡らされる箇所もあった。国道362号瀬平～久保尾間の現場で復旧に当たっていた建設業者の人に話を聞いた。「この路線は結構風が巻く（小規模の竜巻が発生する）」と、ころど地主さんも言っていました。このため大雨や風による倒木が多い場所です。今回も太い広葉樹が根元からぼつきり折られ、道を横断するように倒れました。かなり強く風が吹いたんでしょう。その大木は、電線を巻き込んで道をふさいでいた。その路肩では、ガードレールの根元の土砂が崩れ、支柱がむき出しになっていた。たたきつけるような雨や荒れ狂う風。大型台風のすさまじさを見せつけられ、呆然とその場に立ち尽くした。

大地震の発生、大型台風の到来。そのとき町内各所では道路網が寸断され、ライフラインも大打撃を受ける。もしかしたら、いくつもの集落が孤立してしまうかもしれない。決して飛躍した考えではないと、眼前で横たわる大木が物語っていた。

東海地震が発生すると  
全県下で被害は甚大に

東海地震は、駿河湾付近で近い将来起こるといわれている巨大地震。平成13年5月に発表された第3次地震被害想定によれば、予想される地震の規模はマグニチュード8、震度は、埋立地や地盤が軟弱な地域を中心に6強から7となり、地域によっては液状化の発生や津波の襲来も予想されている。また古い木造家屋が密集した地域では、建物の多くが倒壊するなど、甚大な被害が懸念されている。

第3次被害想定によると、東海地震が発生した場合、全県下で建物被害は77万3千棟（全壊・半壊・一部損壊含む）、11万人が何らかの被害（死亡・重傷・中程度のけがなど）にあうと予想されている。

東海地震の規模や被害を阪神・淡路大震災と比較すると、マグニチュードは10倍、震度7がおよぶ地域の広さは4・4倍、人的被害は2・2倍、建物など倒壊

本町が震度6弱に襲われると、

人的被害は死者28人、重傷者48人

被災家屋は946棟、430世帯におよぶ

の被害は1・9倍にもなるという恐ろしい予想が出されている。

震度6弱が襲う本町ではどの程度の被害が出るか

東海地震が発生した場合、本町にはどれほどの被害が発生するのだろうか。

想定では、本町全体の震度は6弱と想定され、場所によっては6強になる可能性もあるとしている。

東海地震の予知ができなかった場合、本町では28人の死者、48人の重傷者、中程度のけが人が190人以上にのぼると算定されている。人口の約3%に被害が出るという予想だ。また建物な

どの物的被害は、罹災（大破棟数+中破棟数+一部損壊棟数）の建物数は2600棟。大きく破壊される建物は946棟と、多くの建物が全壊・半壊すると見積もられている。

全県下で被害多数の場合  
救援などが遅れる可能性も

本町のことだけ考えては  
いられない。全県下で被害  
が発生している状況では、  
ライフラインが寸断されて  
もすぐに復旧できない、情  
報が遮断される、孤立集落  
への救助が遅れるなど、仮  
に本町の被害は少なかつた  
としても、救援の手はなか  
な届かないかもしれない。

### 本町での東海地震被害想定

東海地震の予知がなされなかった場合

人的被害	死者	重傷者	中等傷者
	28人	48人	192人

平成21年9月1日現在の人口8,696人により算出。町全体の約0.3%の人が亡くなり、約2.7%の人が負傷すると想定されています。

物的被害	罹災 (大破棟数+中破棟数+一部損壊棟数)		被災 (大破棟数+中破棟数/2)	
	棟数	世帯数	棟数	世帯数
	2,602棟	1,178世帯	946棟	430世帯

平成21年9月1日現在の世帯数3,036世帯により算出。町全体の約39%が罹災し、約14%が被災すると想定されています。

参考：第3次地震被害想定結果 平成13年5月 静岡県

## 第2章 住民の生命と古里の財産を守る本町の組織力

# わが町の防災最前線

災害は、いつ起こるか誰にも分からない

予想できない大規模災害の襲来に立ち向かうには

消防や自主防など組織力が欠かせない

肝心なのは「組織があること」ではなく「組織が機能すること」

そのためには、日ごろからの訓練や準備が必要だ

消防団と自主防災会の訓練から、わが町の防災体制を見ている



# 地域を守る 使命感



8月の地震を教訓とし、消防団員全員の力を結集して万全の備えを

## 川根本町消防団 高田智祥<sup>ともよし</sup>団長 (元藤川)

8月11日に発生した駿河湾沖を震源とした大きな地震。町内でも非常に大きな揺れを感じ、その後の余震にも不安を覚えました。わたしたち消防団は、東海地震などの大きな災害が発生すれば、火災への対応だけでなく、人命救助などさまざまな活動が求められることとなります。

静岡県を襲った8月の地震を教訓として、大災害の発生時、団員それぞれがどんな対応をすべきか、また何ができるか、今一度考えてみる必要があります。今回の演習も含め、日ごろから訓練を重ねることが万全の体制で備えることにつながります。団員個々の力を結集し、災害に屈しない大きな力で立ち向かわなければなりません。

団員のキビキビした動作を頼もしく感じた



演習の見学に来ていた

## 中野恵子<sup>けいこ</sup>さん、翔海<sup>しょうま</sup>くん (上長尾)

わたしたちは、夜の練習のころから、時々見学に来ていました。翔海が「今日消防ある？」って、わたしによく聞いてくるんですよ。今日の訓練を見ていて、皆さんのキビキビした動作が本当に頼もしく思えました。子どもに「町を守る人たちの姿」を見せる良い機会となりました。わたしの家でも、非常持ち出し袋など、自分でできることから準備をしています。



1ポンプ車後方の水槽に向かって吸水管をのばす団員。その表情から「一刻でも早く」という気持ちが伝わってくる 2町長の訓辞を真剣なまなざしで見つめる団員。指先まで伸びた姿勢、規律が行き届いている 3指揮者の号令で団員が一齐に駆け足。各個訓練にて 4ホースを持って全力疾走で火点に向かう 5真剣な表情で火点を見つめる団員。このあと放水。すぐさま的は倒れた

他の団員からは、大きな拍手やかけ声が上がっていた。審査の結果、自動車ポンプ操法の部は第3分団が優勝、小型ポンプ操法の部は第6分団が優勝した。また特に優秀と認められた団員に対して、個人別の表彰もなされた。式典の最後は、本町の無災害と消防団の発展を祈念して、火の用心三唱と万歳三唱を唱和して締めくくった。

### 訓練のための訓練じゃない日ごろの備えこそ重要

機敏な動作の一つ一つに意味がある。実際の災害現場では統率のとれた行動がミスを防ぎ、迅速な対処が可能となる。それと同時に、団員自身の身の安全を確保することにもつながるのだ。一刻を争う災害の現場では、些細なミスや判断の違いから命を失うこともある。自らの安全も確保しながら、素早く正確な救助活動をするためには、日ごろから機材に慣れおき、訓練を重ねておくことが重要なのだ。団員たちは訓練の成果を披露するためだけに集うわけではない。毎晩のように厳しい訓練を重ねるわけではない。かけがえのない住民の命と地域の財産を守るといふ、強い「使命感」が、団員個々の心を支えている。

訓練の成果を披露し合う本町消防団秋季演習  
本町消防団は9月6日、川根中学校グラウンドで、平成21年度秋季演習を開催。全分団から291人の団員が集結した。各分団は大規模災害に備え、常日ごろから消防機材の点検や操作方法の訓練、地域の見回り活動などに励んでいる。特に8月は、3週間にわたってポンプ操法などの訓練を重ね、9月6日を迎えた。見事な操法観客も息をのむ訓練披露は、ポンプ操法の部と各個訓練の部に分かれて実施された。自動車ポンプ操法の部には、第1、3、5、7分団が出場。小型ポンプ操法の部には第2、4、6、8分団が出場した。どの分団の団員も、これまで重ねてきた訓練の成果を存分に発揮し、見事な訓練を披露した。的確な動作でポンプ車を操る団員、ホースを担ぎ全力疾走する団員、真剣なまなざしで放水する団員、指揮者の号令で一糸乱れぬ動きを見せた各個訓練の出場団員……。そんなキビキビした姿に頼もしさを感じた。訓練を見学していた来賓や

ひとたび災害が発生すれば、仕事をなげうって現場に急行、最前線で災害に立ち向かう平成の町火消し「川根本町消防団」山岳での捜索活動や、災害現場での人命救助などその活動は火災への対応にとどまらない本町最大のボランティア組織「使命感に燃える消防団の「秋季演習」に密着した

個人の力には限界がある  
自主防災組織の必要性

東海地震のような大規模災害から自分や家族の命を守るためには、家具の固定や家屋の耐震化など、日ごろから十分に対策を講じておく必要がある。しかしひとたび大地震が起これば、個人や家族の力だけで、すべての困難を乗り越えることは難しい。

阪神・淡路大震災では地震発生直後は、道路の損壊や交通渋滞がひどく、食料や飲料水など救援物資が十分に行き渡らない避難所が多かった。また電気・ガス・水道などのライフラインは崩壊し、多くの市民が救助を求めたが、実は防災関係者も多数被災したため、復旧や救助がなかなかかどらなかつた。

特に本町は典型的な山間地集落の多くが離れて点在しているため、災害時は道路が分断され、情報も遮断され、救助の手が思うように行きわたらない可能性も十分にある。行政や消防の力は有限であり、すべての地区に対応することは困難だ。

ある程度の期間、自分たち

自分たちの地域は、自分たちの手で守り抜く

# 自主防災組織

「自主」の名のとおり、「自分たちの地域は自分たちが守る」という意味を持つ自主防災組織  
隣近所の人たちや同じ地区の人たちが互いに支え合いながら、災害時の困難に立ち向かう  
災害発生時はもちろん、日ごろからの防災活動こそが万全の備えにつながる  
その必要性をあらためて考える



地名区では「地域の被害を共に考え、地域に合った防災対策を再確認する」を重点目標に12月6日の地域防災訓練を実施します。9月の訓練で実施した防災クイズを、より分かりやすいものに作り替え、もう一度実施するよう準備中です。これまでは南分遣所にご協力いただき、AED講習や煙体験車などの体験をしていましたが、今度は自分たちでできることをやろうと、アイデアを出し合っています（栗原さん）。

8月の地震発生時、わたしはちょうど手元に携帯電話が置いてあり、緊急地震速報を受信しました。そしてその数秒後に揺れがきました。たった数秒ですが、机の下に隠れるなどできることがあったんです。周りに聞いてみると、この速報は通知された人とされなかった人がいました。携帯電話各社で設定が異なるため、各社販売店に出向いて設定方法を聞き、訓練時には参加者に説明しています（勝山さん）。

地名区ではこれから「要援護者の把握」に取り組めます。いざというとき、援護が必要な人がどの家庭にいるのか、把握しておくことは非常に重要なことです。防災訓練など自主防の活動を通して、区民全体の防災意識を高められるよう工夫を重ねています。

さまざまな工夫で、区全体の防災意識の高揚を

地名自主防災会に聞いた



地名自主防災会・庶務部  
栗原秀春さん・勝山正司さん

の力や備蓄だけで生き延びることも視野に入れなければならない。そういった場合に力を発揮するのが自主防災組織（以下自主防）だ。普段から顔を合わせる人が多い隣近所の人たちや同じ地区の人たちが集まり、互いに助け合いながら活動することで、被害

を最小限に抑え、安心感を最大限にすることができている。実際に、阪神・淡路大震災では、隣近所の人たちが助け合って救助活動をして尊い命を救った事例や、自分たちで初期消火をし、延焼を食い止めた事例など、住民自らが防災活動の先頭に立った事例が

数多く報告されている。

「組織があること」ではなく「機能すること」が重要

自主防は、災害発生時にだけ活動するわけではない。むしろ、常日ごろからの防災活動こそが重要といわれている。防災訓練のみならず、地域内の安全点検や住民への防災知識の普及・啓発など災害に対する備えをし、また実際に災害が発生した際には、初期消火活動、被災者の救出・救助情報の収集や避難所の運営など、多岐にわたり重要な役割を担っている。

静岡県の自主防は、町内会（自治会）単位で結成されたものが多く、組織率はほぼ100%を誇る。しかし県が平成19年度に実施した「東海地震についての県民意識調査」によると、本来ならばほぼ全世帯が組織に加入しているはずなのに「自主防に入っているか」との設問に「はい」と答えた人は約7割にとどまった。また、住民からみた自主防の活動について「活発である」と答えた人は全体の約14割に過ぎなかつた。

練の中には、楽しく学べるイベントを採り入れ、参加しやすくなるように工夫を凝らす自主防も増えている。

**自主防災組織の中心はその地域に住むすべての人**

自主防を構成するのは、地区の役員だけではない。その中心を担うのは地域に住むすべての人といえる。住民自らが「なぜ自主防が必要なのか」を考え、防災訓練などの活動に参加することが、自主防のマンネリ化解消につながる。「自主」の名のとおり、「自分の命は自分で、自分たちの地域は自分たちで守り抜く」という意識こそ一番大切なものだから。



防災資機材の点検も重要な役割だ。いざというとき使えなかつたら意味がない

組織の連携が孤立地区を救う

今年2月21日、大規模災害で集落が孤立したことを想定したヘリコプターによる救出訓練が実施された。町内各地区の自主防災会や消防団など約80人が参加した。

この訓練は、学校のグラウンドや駐車場など、普段はヘリポートとして使われることのない場所に、空からの支援が円滑になされるよう実施されたもの。自衛隊から派遣された2種類のヘリコプターは、高郷河川敷と本川根中グラウンドを発着点とし、各地区（接組区・沢間区・寺町河内区・久保尾区）へ支援物資を運んだ。各地区集会所の広場や駐車場を使った仮設のヘリポートでは自主防災会が、飛来したヘリコプターに手や旗を使って合図を送り誘導した。自主防災会ではこの日のために、事前にヘリコプター誘導の講習を受けており、円滑に着陸させることができていた。

訓練の参加者からは「実際の災害では、今回のように地域の者でヘリコプターを誘導しなければならない。できるか不安だったが、安全に着陸させることができ、とてもいい経験になった」「この地区にヘリコプターが着陸したのは、これが初めて。ヘリコプターが着陸できることを確認でき、安心した」などの意見が聞かれた。

この後ヘリコプターは、実際に住民を乗せ飛び立ち、孤立した住民を救出する訓練を実施。実災害さながらの訓練を繰り返した。



## 災害孤立地区を想定し自衛隊ヘリコプターによる救出訓練を実施



情報収集の最前線

大規模災害時、孤立集落が発生した場合に、機動力を発揮して情報収集に当たるのが町災害対策本部のオフロードバイク隊「KEEP」だ。

道路が寸断され自動車では立ち入ることができない孤立した場所であっても、オフロードバイクを駆る隊員たちが勇猛果敢に突き進む。町全域の道路状況、要救助者の有無、ライフラインの現状など、現地でしか知り得ない生の情報を収集し、アマチュア無線を駆使して本部に届ける。本部ではその情報を元に、避難誘導や救助、災害復旧などの対策を立てていく。

訓練が威力を発揮

オフロードバイク隊KEEP P（以下バイク隊）は平成17年11月、隊員6人とバイク3台の体制で発足した。個々の隊員は、自動2輪免許を持つ役場各課の男性職員だ。大規模災害時、町災害対策本部長（町長）の命を受けて活動は開始される。

大規模災害の発生時、山野を駆け抜け抜け情報を収集

町災害対策本部の斥候部隊 オフロードバイク隊KEEP

さんは企画課に勤務する職員。バイク隊発足当初から所属するベテラン隊員だ。

「隊員は常に操縦訓練を欠かしません。町内での実走訓練や、静岡市オフロードバイク隊および自衛隊との共同訓練のほかにも、休日などを使って自主的に練習する隊員が多いです。障害物乗り越えたり、狭い場所で旋回したり、悪路を走破したり…。最初のころは転倒してばかりでしたが、今では格段に技術が向上しています。日ごろの訓練がいざというときに物を言う任務ですから」と話す。

現在は8人・バイク6台の体制。災害発生時には2人1組となり、町内を3つのエリアに分けて情報収集に当たる。「避難の様子やヘリポートの開設状況、アマチュア無線



町オフロードバイク隊 服部了士隊長（千頭）

の通信状況など、任務は多岐にわたります。また災害時には全員が出動できるとは限りませんが、どの隊員も町内全域をカバーできるよう、普段の訓練も工夫しています。バイク隊の活動には危険も伴います。出動時は常に本部と連絡を取り合い、隊員同士の安全確保に努めています。大規模災害時に一番重要なこと。それは正確な情報を一刻も早くつかみ、対策につなげること。機動性にすぐれたバイク隊から届く迅速な情報が、災害発生初期の救助や対策に大きく貢献する。



1 7月18日訓練にて。バイクはアマチュア無線装備の特別仕様だ 2 河川の護岸を駆け上る 3 中川根南部小でバイク隊を説明。児童たちの目も輝く 4 山道を走破。自動車では真似のできない機動性だ

オフロードバイク隊KEEPの「KEEP」には、次のような意味が込められています。  
K…Kawanehoncho E…Emergency E…Effective P…Persons  
川根本町の 緊急事態に 効果のある 集団

第3章 これからの 備え

わたしたち一人一人にできること

8月の大きな地震から3カ月、台風18号の襲来から2カ月が過ぎ

災害の記憶は、すでに風化しつつある

忘れないために、生かすために、

話し合うことから始めよう

わたしたちにできること

わたしたちがすべきこと

「いつか」ではなく、「今から」



# 物の備え・心の準備

これを読んでる今、東海地震が発生したら…  
 あなたは、まず何をやるだろうか  
 家族の居場所は…？ 非常持ち出し袋は…？  
 非常時のパニックを最小限に抑えるためには  
 「物の備え」と同時に「心の準備」も大切  
 地域防災指導員の鈴木淳二さんに  
 家庭でできる備えや心構えなどを聞いた



- 非常持ち出し品チェックリスト
- 1次持ち出し品 (地震発生後すぐに持ち出す)**
- 飲料水 □懐中電灯 □ラジオ □応急医薬品 □持病の薬 □タオル
  - 現金(硬貨も) □軍手 □ティッシュ □生理用品 □ヘルメット □マスク □靴 □ライターやマッチ □笛
- 2次持ち出し品 (地震発生後、落ち着いたら家に戻り持ち出す)**
- 飲料水 (1日1人3リットルが目安) □非常食 (乾パン・アルファ米・缶詰・インスタント食品など) □燃料 (卓上コンロ・固形燃料など) □衣類
  - 洗面用具 □毛布 □寝袋 □ラップやアルミホイル □雨具 □ポリタンク □ガムテープ
- ※最低3日分の生活用品。1次持ち出し、2次持ち出し品とも、数カ所に置いておくこと効果は高まります。

## 1物の備え

防災用品… 災害発生時、すぐに持つて避難できるよう、チェックリストを参考に用意しましょう。非常持ち出し袋は、玄関先はもちろんですが、寝室や台所など数カ所に分けて置いておきたいですね。

一つだけだと持ち出せない可能性もありますから。赤ちゃんがいる家庭では、ミルクやほ乳瓶、おむつ、おおい紐なども必要になるでしょう。家族構成によって、必要な持ち出し品は変わります。ご家庭で話し合ってみてください。

非常食は手軽でバランスのすぐれたものを。最近では乾パン以外にも、栄養価の高い非常食も豊富にあります。店で聞いてみてください。

ラジオは情報収集の必須アイテム。今は手巻きで充電するタイプや、懐中電灯が付いたタイプなどもあります。火災の発生に備え、消化器



地域防災指導員 鈴木淳二さん

は用意したいですね。最近では手軽なハンディタイプもあります。家屋が倒壊した際には、大工道具(のこぎりやバール、ハンマー、スコップなど)が活躍します。

**家の中に避難場所…** 家の中に安心できる場所(避難場所)をつくっておきましょう。できるだけ、家具を置かないで、すぐ逃げ込める場所がいいです。寝室などがお勧め。近くにはスリッパなどを備えておくことも大切です。ガラスなどが床に散らばっている中を逃げることになりやすから。最近では、寝室用のシェルターも売られています。

## 3地震発生の瞬間

災害は、いつどこで起こるか分かりません。たとえ就寝中であろうとお構いなしに発生します。いつ、どこで災害に見舞われたとしても、第一に考えるのは「いかにして自分の身を守るか」です。

**家の中…** 窓際や大型家具には近づかないで、机やテーブルの下に隠れ、揺れが収まるのを待ちましょう。日ごろから机やテーブルの下に荷物を置かないようご注意ください。

**道路を歩いたら…** 外を歩いていたら鞆やバッグをヘルメット代わりに。ブロック塀や自動販売機などにつかまってはダメです。阪神・淡路大震災では、ブロック塀はなぎ倒されて道路をふさぎ、ポルトで固定された自動販売機ですら倒れてしまったとい

## 4揺れが収まったら

火の元などを確認… 火災を防ぐためにもガスの元栓は閉めましょう。ただし揺れてる間は火の元に近づかないこと。また電気のブレーカーも落とします。まだ水道が生きているようなら、できるだけ皆さんの容器に水を溜めておいてください。

**家族の安否確認…** 災害伝言ダイヤルなどを活用して、家族の安否を確認しましょう。**いざ避難…** 被災した場所に、応じた避難場所へ。その際、非常持ち出し袋を忘れずに。**情報収集はラジオ…** 停電中などに正確な情報を得るにはラジオが一番。阪神・淡路大震災では、ラジオが情報源として大活躍したと聞いています。予備の電池も忘れずに。

## 阪神・淡路大震災から考える家具転倒防止の有効性

阪神・淡路大震災では、家具の転倒や食器など破片の散乱によって、ケガを負ったり、逃げ遅れたりする被害が多数発生した。室内に家具・家電が多くなり、またそれらが大型化していることが原因と見られている。

震度7を記録した地域では、食器棚の扉が開いて食器類が飛び散り、冷蔵庫やピアノは大きく移動。テレビや電子レンジが吹っ飛びといった、日常では考えられない光景が見られたという。家具が転倒し、下敷きになってしまう危険。そればかりではない。火災が発生した場合、家具が散乱している状況では逃げ出すことだって困難だ。気象庁の解説では「震度5強で、タンスなど重い家具が倒れ、テレビなどが台から落ちることがある」と想定している。室内での家具転倒を防ぎ、避難経路を確保しておくためにも、家具の固定を進めたい。



▲タンスや食器棚など大型家具の転倒を防止する固定方法。天井につばるタイプなので、壁に穴を開ける必要がない。

## 住宅の耐震対策を進めよう

町は県と一体となり「TOUKAI-0」総合支援事業に取り組み、住宅の耐震化を進めています。まずは無料で受けられる「耐震診断」から。申し込みは電話1本。わが家を、一番安心して過ごせる場所にしましょう。ブロック塀撤去の補助制度もあります。一度、建設課までお電話ください。建設課 ☎ (56) 2227

あなたを守る。家族を守る。

## 命のパスポート

紙面から切り取って貼り合わせ、財布などに入れてください。災害時、自分に言い聞かせること、心がけたいことをごく簡単にまとめたものです。

静岡県防災局防災情報室

大きな地震が発生したら…

## 3秒 地震だ!

- 落ち着け!
- 身を守れ!
- 意識しよう! 火元と脱出口確保

## 1~2分

揺れがおさまった

津波や山・崖崩れの危険が予想される地域はすぐに避難

- 火元を確認!
- 家族は大丈夫か!
- 靴を履く!
- 非常持ち出し品!

## 3分

- みんな無事か?
- 近くに火は?

大声で知らせろ!

消火器を使え!

バケツリレーだ!

- 余震に注意!

## 5~10分

- ラジオをつけろ!

デマにまどわされるな!

- 市町、自主防の情報を確認!
- 電話はなるべく使わない

緊急連絡を優先!

安否確認は伝言ダイヤル[171]を!

避難のときは

- ・ ガス栓を閉める! プレーカーを切れ!
- ・ 車は逃げるな!
- ・ ブロック塀の倒壊、自動販売機の転倒、看板やガラスの落下、がれきに注意!
- ・ 行先メモを玄関に!
- ・ 子供を学校へ迎えに!

## 10分~数時間

- みんなで消火活動!

- みんなで救出活動!

消火・救出が難しいときは消防署等へ連絡!

簡単な手当ては自分で!

## ~3日

- 生活必需品は備蓄でまかなえ!

水・食料・ラジオ・ライト・常備薬等

- 市町広報に注意!
- こわれた家に入るな!
- 無理はやめよう!
- がまんと助け合い!

避難生活になったら

## 3か条

- 自主防を中心に!
- ルールを守れ!
- 助け合おう! 災害時要援護者に心づかい



1 寝室に置いてある懐中電灯の電池が切れていた。これを機に、子どもと一緒に交換 2 すずさんが見せてくれた水タンク 3 天井部に突っ張り棒をかませているテレビの台 4 子どもが通う小学校が避難場所 5 寝室の棚にはおもちゃがたくさん置いてあり危ない



### 設置しましたか？ 住宅用火災警報器

火災発生時、住人に避難を促す住宅用火災警報器。今年5月末、すべての住宅に設置が義務付けられた。火災で何より怖いのは煙に巻かれること。逃げ遅れを防ぐためにも、住宅用火災警報器の設置を進めよう。今回お邪魔した横山さんのお宅にも、しっかり設置してありました。



家族全員で、非常持ち出し袋の中を確認中

# 家族で話し合う

あなたとあなたの大切な人を  
大規模災害から守るために  
まず、すべきことがある  
「備えること」

そして家族全員で「話し合ってみる」こと  
万一のために、今できることを考えよう

「家族防災会議」を始めた  
横山さん一家(徳山)を取材した

家族全員がそろった11月のある日、横山勝次さん一家では、「家族防災会議」を開いた。東海地震などの発生時、家族全員が慌てないように、今からできる家庭内の防災対策や、災害発生時の家族の行動などを話し合った。

### 8月11日「地震の記憶」

父 早朝5時という時間帯だったため、妻が台所で朝ご飯の支度をしていた以外は、みんな寝ていました。突然の大きな揺れに驚き、とっさに子どもの上に覆いかぶさりました。

母 わたしは朝食の支度をしていました。すぐに料理をやって火を止め、テレビをつけました。わりと早く地震の情報が流れたように記憶しています。

### 備蓄しているもの

母 非常持ち出し袋に食料や飲料水、懐中電灯などを詰め、ものを2袋用意し、玄関先などに置いてあります。でも食料は、家族が3日間過ごせる量には全然足りません。それに期限が切れている缶詰もありました。たまには袋を開けて、中身を確認しないと

れば一番安全なんでしょうけど、うちは住宅なんです。壁に穴を開けていいか、会社と相談してみないと…。  
母 穴を開けない転倒防止器具でいいから、寝室にあるおもちゃの棚と電子ピアノだけは補強しておきたいですね。

### 非常時の行動

父 子どもたちには、地震が発生したら、まず頭を守るように教えています。身近な物、たとえば鑑みたいいな本でもいいから、それで頭をかばいなさいと話しています。  
祖母 風呂にはできるだけ水をためておくようにしています。給水車はあちこち行くでしょうから、この近くに来るのがいつになるかわかりませんしね。

母 揺れが収まったあとは、火の元の確認や、テレビやラジオで情報を聞く、容器に水

をためるなど、やるのがたくさん。絶対に混乱しますね。  
父 家族内であらかじめ、役割分担をしておきたいですね。例えば子どもを探しに行く場合、両親とも家を空けてしまったら、お互い行き違いになってしまいます。どちらかは家に残り、もう一人が探しに行くなど、これを機に決めておきたいと思います。  
また、家族が別々の場所にいることも考えられますから、それぞれの避難場所を把握しておくことも大切ですね。  
父 今家族で話し合ってみて、あらためて家庭で防災対策をする必要性を感じました。家族の間で情報を共有しておくことも大事です。万一の際、慌てるなど言っても無理ですから、今からできることをやっておこうと思います。まずは家族で、足りない防災用品を買い足しに行きます。

家庭内の防災対策  
母 テレビの台の上には突っ張り棒をかませ、倒れてこないようにしています。あと台所の食器棚のとびらには、マジックテープで開かないように細工をしています。大きな揺れの中で、どれくらい効果があるかはわかりませんが、食器棚自体の転倒防止はしていませんし。  
父 できれば、電子ピアノとか食器棚、本棚などは、壁に穴を開けてL型金具で固定す

乳瓶などは絶対に必要。でも結構かさばるんですよ。  
子 チョコレートも。  
母 子どもたちを安心させるためにも、お菓子なんかも入れておくといいですよ。糖分補給にもなるし。  
父 年に1回くらい家族でキャンプに行くんですが、キャンプ用品は非常時に役立つんですよ。テントや寝袋など、きつと重宝しますよ。あと子ども用に、ヘルメットと防災ずきんを備えています。親の分はないんですけどね…。

ダメみたいですね。  
父 袋は、1カ所にまとめておいても意味はないですから、居間の隅と玄関先に置いてます。必ずどっちは持ち出せるようにしています。  
祖母 水が一番大事ですから、ビニールのタンクを購入して置いてあります。あと何より大事なのは常備薬。わたしは少し頭痛の気があるので、その薬は必ず用意しています。安心感が違いますからね。  
母 拡立(赤ちゃん)がいま



ここにも、一つの物語。  
広報かわねほんちよう

横山勝次さんご一家 父：勝次さん、母：羊子さん、祖母：すずさん、子：祐大君(9歳)、拓生君(6歳)、宙弘君(3歳)、拡立君(0歳)の7人家族



# 災害の記憶は、しだいに風化してしまう 今、話し合うことから始めよう いつか来る**大規模災害に屈しない**ために

## 取材を終えて

epilogue

「忘災」への対策



千澤利通さん (坂京)

昨年、坂京区で実施された防災訓練にお邪魔した。この訓練では、地域の催し「お宝コンテスト」も同時開催。訓練・催しを企画した千澤利通さんに、その意図を聞いた。「区内の人口減少・高齢化が進み、こういった地域の行事や防災訓練への参加が、皆さん難しくなっています。主催する側としては、少しでも皆さんが参加しやすいよう工夫しないとけません。訓練と催しの同時開催は、参加者の負担軽減を狙ったもの。おかげさまで、多くの地区住民が参加してくれました。本当にありがたかったです」。一人でも多くの人に参加してほしい、楽しみながら防災意識を高めたという主催者側の努力と工夫が垣間見える、坂京ならではの訓練だった。

8月11日の明け方、本町を襲った地震。今まで体験したことが、すでに災害があったことすら忘れつつあるのではないだろうか。家族防災会議を取材した横山さん一家。勝次さんの言葉にもそのことが感じられた。「災害は忘れたころにやってくるって言いますよね。あれは本当なんだなあ」と実感しました。地震直後は危機感がありましたから、家で対策をしようと考えていましたが、日が経つにつれ、その気持ちも薄らいできました。今回の家族会議は一つのきっかけ。あらためて、家族みんなで備えをしようと思えます」。局地的な豪雨や突然の地震。予測がつかない大自然の猛威の前には、人は何ができるのだろうか。過去の教訓の数々は、そのとき住民には為すべがないという現実を突

きつけていた。大規模災害時、救援の手が届くまでには相当の時間がかかる。そのときになって「温かい食事が避難所に届かない」「給水車がさっぱりやってくない」などと言っても遅い。今こそ備えを始めたい。愛する人を、愛するわが家を、愛する古里を守るために。災害に屈することなく、立ち向かうために。「守られる防災」から「自ら守る防災」へ。この特集をきっかけに家族で、地域で話し合うことを始めよう。あのと意味わった恐怖を、これからすべき準備を。わたしたちは学んだはずだ。住民一人一人の「忘災対策」こそが、大規模災害に屈しないための最大の備えとなることを。

大規模災害に屈しない 終

### 地域防災訓練 12月6日回

#### 想定：東海地震クラスの大地震発生

自主防災会を中心とした地震発生後の避難、消火、救護など一連の対応訓練を実施します。それぞれの地域特性を考慮した訓練により、防災活動・意識を高めることが目標です。

大きな災害の発生時には、家屋や道路の被害のほかに、人的被害も発生すると予想されています。火災の危険や、ガス漏れ、電気・水道・電話が使えなくなることも考えられます。公的な防災機関は需要が一気に高まり、各地への到着が遅れるかもしれません。

地域防災訓練は、防災に関する知識・技術・心得などをみんなで学ぶ場。皆さんぜひ、地域の防災訓練に参加してください。

総務課地域支援室 ☎ (56) 2220

## 民間活力による土地有効活用へ 町有遊休地を譲渡・貸付します

本町が所有する土地の中に、有効活用されずにいる遊休地があります。

町有地は、町民の皆さんの貴重な財産です。適正な利用目的のある人へ、適正価格で譲渡・貸付し、民間活力による有効活用を推進したいと考えています。

次の土地の取得または借地を希望される人は、総務課までご連絡ください。

**場所** 徳山1547番地の31外  
**現況地目** 宅地  
**台帳地積** 745㎡  
**備考** 元町宮沢協団地跡地



## 新型インフルエンザ

新型インフルエンザの感染が拡大、患者数も急増しています。学校では学級閉鎖なども増えています。

国や県などから発信する情報に注意しながら「人混みを避ける」「手洗い、うがいを徹底する」「マスクの着用」などの予防を心がけましょう。

県では新型インフルエンザ相談窓口を24時間体制で開設しています。新型インフルエンザワクチンの接種やインフルエンザの予防法、受診の方法など、分からないことは気軽に相談ください。

県厚生部 ☎054 (221) 8560  
中部保健所 ☎054 (644) 7410



寸又峡の夜、道行く人をほのかな灯りが照らしました

## 和紙の灯りが人々を照らす

寸又峡和紙のあかり展に多くの来場者

寸又峡「和紙のあかり展」は、和紙で製作したあかり作品を温泉街に並べ展示する催し。今年で4回目を数え、180点もの作品が温泉街の歩道など約600mに渡って展示されました。10月15日のオープニングセレモニーでは、実行委員長の望月孝之さんが「全国から多くの作品が集まり、奥大井の初秋の風物詩として定着してきょうに感じます。寸又峡の情緒あふれる夜を、皆さんに味わっていただきたい」と話していました。



小澤節子さんを講師に迎え、大井川の現状などについて熱心に学びました

## 大井川から環境保全を学ぶ

大井川の中流域を学ぶ視察会を開催

大井川の清流を守る研究協議会は10月17日、「大井川の中流域を学ぶ視察会」を開催。流域住民15人が参加しました。大井川流域で暮らす人々に、中流域の現状を肌で感じてもらい、理解を深めるために毎年実施している視察会です。大井川を再生する会の小澤節子さん（高郷）を講師に迎え、島田市神座の大井川用水分水工や本町の長島ダムなどを視察。大井川の現状を知り、環境保全の重要性などを学びました。



地域づくりなどについて語り合った討論会。両会場で実施されました

## テレビ電話を通して交流を

島根県益田市と本町が地域医療を考える

助地域社会振興財団が主催する地域医療を考えるテレビ電話会議は11月7日、島根県益田市保健センター、本町山村開発センターの両会場で開催、島根県益田市約80人、本町約70人が集まりました。

「地域医療の現状」をテーマとした講演では、益田市会場に出席した自治医科大学梶井英治教授が地域医療の課題などについて次のように述べました。「現在の医療は、『病気を治す』ことから『病気のコントロール、健康の維持、身体機能回復』といった多様な役割へと変化しつつある。しかし医療は限りある資源。医師・看護師がいなくなってしまうと、その地域から医療が消えてしまう可能性もある。地域住民自ら、地域の医療を考えてほしい。地域医療を守るという意識を持ち、住民と医療とがより良い信頼関係を築いてほしい」と訴えかけました。

このあと両会場で開催された全体討論会。席が近い者同士で「地域づくり」について討論しました。各会場で活発な討論が交わされ、「住民と行政のつながり、連携プレーがまちを元気にする」といった意見が発表されました。互いのまちの現状を踏まえた上で、これからのより良い地域づくり、より良い地域医療のあり方などを考えました。



この町に起こった  
新鮮な「ネタ」を皆さんの元へ。  
この次に登場するのは  
あなたかも!?

## 川根本町のまちの話題

**12・31工業統計調査の日**  
平成21年工業統計調査は12月31日、製造業を営む事業所を対象に全国一斉に実施します。この調査は明治42年（1909年）、わが国の工業の実態を明らかにし、国や都道府県など地方公共団体の行政施策（産業政策、中小企業政策など）の基礎資料とするために開始されました。

また、わが国の経済統計体系の根幹を成しており、経済白書、中小企業白書などの経済分析および各種の経済指標へデータを提供しています。

### より良い経済活動のため

この調査は、製造業の実態を明らかにし、これからの経済活動をより良くするための資料や、企業、大学での研究

### より良い経済活動を進めるため

## 工業統計調査にご協力ください

資料、小・中・高等学校の教材などに広く利用しています。

### 調査員が伺います

12月下旬に、統計調査員が各事業所へ調査票をお届けします。工業統計調査へのご協力をよろしく願います。

## 年末も、当店を含め茶娘ちゃんカード会のお店がお得です！！

プレミアム商品券でお支払いいただくと「抽選券」を進呈します（500円券につき1枚）  
11月・12月各月末に抽選を実施。宿泊券や液晶テレビ、5万ポイントが当たるチャンスです！

※まだ未購入の方へ、ホーチキの火災警報器を日立工機が販売・2個以上がお得価格で好評販売中

農機具の購入・修理・改造など、お気軽にご相談ください。地域のお店だからこそ、ていねいに分かりやすく、迅速に対応いたします！

## 前田機材

川根本町上長尾795-1  
I P 電話 ☎050-3363-2252  
☎56-0006 FAX56-0009

### 大人からプロの技を学ぼう

中川根第一小学校

保護者の仕事を見せ、働くことの大切さを学んでもらおうと11月14日に開かれた「保護者にプロの技を学ぼう」。川根高校先生や建設会社社長さんなどから仕事の苦労や喜び、充実感などを教わる授業です。体育館では、大工の小澤さんから仕事へのこだわり、やりがいなどを学んだあと、大工体験としてみんなですのこ作りに挑戦しました。児童・保護者とも、悪戦苦闘しながらも、楽しそうな声が響いていました。昇降口では、梶山さんの指導の下、コンクリート製の踏み台が完成しました。



小澤さんの技を食い入るように見つめる

### 地域の自然や文化に触れる

中央小学校

地域の人と交流したり、地域の自然や文化に触れたり、地域の施設を利用したりして、自分が住む町の良さを実感してもらおうと実施された「地域交流の日」。子どもたちは四季の里でのまんじゅう作りや、智者の丘公園へのハイキング、音戯の郷でひょうたんを使った作品づくり、アプト列車に乗っての接峡岨探索など、低・中・高学年に分かれ、1日かけて地域の魅力に触れました。



音戯の郷にて。ひょうたんでハロウインのマスク作り

町民の皆さんの健康増進と互いの交流を目的としたワンタッチバレーボールの会は11月8日、中川根中体育館で開催され、8チーム約60人が参加しました。

ワンタッチバレーボールは中川根地区が発案した、だれもが楽しめる軽スポーツ。各チームは、AブロックとBブロックに分かれ、優勝を目指して熱戦を繰り広げました。

また会場内では、参加者同士楽しく談笑する姿も見られ、互いの交流も進んだ1日となりました。



各コートで熱戦が繰り広げられました



Aブロックの優勝：徳山B



Bブロックの優勝：サクセス

だれもが楽しめる軽スポーツを楽しむ  
スポーツの秋「ワンタッチバレーボールの会」を開催

- 5日 土 第10回記念静岡市町村対抗駅伝競走大会  
9日 水 トレーニング講習会  
(B&G海洋センター・午後7時30分)  
12日 土 かわねほんちょうスポーツクラブ 14  
19日 土 かわねほんちょうスポーツクラブ 15

今月の展示  
町民ギャラリー展示  
文化祭作品展・生きがいの郷・むつみの郷手工芸作品展

文化会館ロビー展示  
前澤妙子の帰郷展 (前澤妙子さん・本町出身)  
税の習字展 (町内小学生の作品)

今月の予定

より良い品を より安く  
**オザワマート**

営業時間・午前9時～午後7時  
川根本町上長尾 ☎56-1108 FAX56-1109

平成21年12月12日・13日に交換できます。  
**11000ポイント引換券**  
1万円とこの券で11000ポイント販売いたします。  
千円分お得です。最高2万円まで販売します。  
この券を切り取ってお持ちください。オザワマート

キリトリ線



水かさが増した流れの中で腕を競い合いました

秋の涼しさを感じさせる11月1日、静岡県カヌーチャレンジスラローム大会が開催され、会場となった奥大井カヌー競技場(八木地区)には総勢24人の参加者が集まりました。

カヌー競技の普及のため毎年開催されているこの大会。中部電力(株)の協力により、通常より水量を増やした激流の中で開催されます。

参加者の中には東京都、愛知県など遠方からエントリーしたカヌー愛好者や、今年5月から中学校の選択授業でカヌー操作を学んできた本川根中の生徒2人も参加しました。

初心者の部、シニアの部などに分かれた選手たちは、日ごろの練習の成果を発揮して、激流に挑んでいました。

本中の選択授業(カヌー)の生徒2人も参加  
カヌーチャレンジスラローム大会で腕を競い合う

### すこやかな成長を見守る 青少年への声掛け運動

地域の青少年への声掛け運動は、地域で生活している青少年に周りの大人の誰もが温かいまなざしを向け、大人から進んであいさつをする、ほめる、認める、感謝するなど、声かけをきっかけとして青少年と積極的に接し、そのすこやかな成長を地域ぐるみで見守りながら支援していこうという運動です。現在、県下で約24万人が賛同し、活動に取り組んでいます。

「地域の青少年声掛け運動」に、ぜひご協力ください。申し込まれた人に、声掛け運動実行章(バッジ)をお渡しします。  
※申し込みは、町教育委員会生涯学習課 ☎(58)7080まで



忘・新年会はお任せ下さい! 12/1▷2/28 日帰りもお泊まりも5名様から無料送迎付き

- 宿泊プラン 1泊2食付お一人様:8,400円(消費税込・入湯税別) ※■は2,100円増  
■日帰りプラン お一人様:4,200円(入浴料・消費税込) タオル付き  
●飲み放題(120分)お一人様2,100円増 ●10名様以上カラオケサービス  
●お近くの集合場所まで無料送迎いたします。(5名様から25名様まで)  
期間 平成21年12月1日より平成22年2月28日まで  
※12月6日・7日・30日・31日・1月1日より3日は除く ※川根本町限定プランです

泉温峡又寸  
**ホテルアルプス**

ご予約専用ダイヤル ☎0547(59)3131

川根地区 無料宅配！ できる限りのお手伝い致します！ **ギフトセンター文化堂**

### 山村と都市の交流を しずおか山村フェス

静岡県山村振興協議会



山村と都市の相互理解と活発な交流を促進し、山村で生産される農林水産物の消費拡大を図り山村地域の活性化を促すため、平成21年度しずおか山村フェスティバルを開催します。

**日時** 1月30日(土)～31日(日)  
(30日：午前10時30分～午後4時)  
(31日：午前10時30分～午後3時)  
**会場** 静岡市葵スクエア 青葉シンボルロードB1ブロック  
**内容** 山村の特産品や工芸品の販売・山村ならではの料理体験や工芸品体験、パネル展示による山村市町の紹介など  
**実施主体** しずおか山村フェスティバル

#### 川根本町の人口

平成21年11月1日現在

世帯数	3,084	世帯(0)	[42]	出生	3人	[0]
総人口	8,686	人(-17)	[65]	死亡	14人	[0]
男性	4,239	人(-9)	[15]	転入	7人	[1]
女性	4,447	人(-8)	[50]	転出	13人	[1]

※( )内は前月比、【 】内は外国人数、右欄は今月中の異動 ※外国人の数を含む

ル実行委員会(下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、伊豆市、芝川町、静岡市、島田市、藤枝市、川根本町、掛川市、森町、浜松市)  
**【問】** 静岡県山村振興協議会 静岡市葵区追手町9-18 ☎054(250)8285

### あなたも放送大学で 学んでみませんか？

**放送大学静岡学習センター**  
放送大学はテレビなどの放送で授業をする通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的でさまざま

まな年代や職業の人たちが学んでいます。大学や大学院の授業科目を1科目から気軽に学ぶチャンス。この機会に、あなたも放送大学で学びませんか。  
平成22年度第1学期(4月入学)の学生を募集しています。くわしい資料を無料送付しますので、気軽にお問い合わせください。放送大学ホームページでも受け付けています。  
**出願期限** 2月28日(日)  
**【問】** 放送大学静岡学習センター ☎055(989)1253 FAX055(989)1255 <http://www.u-air.ac.jp>

### 安心・安全なまちへ 年末の交通安全運動

**総務課**  
年末の交通安全県民運動は12月15日(火)から31日(日)にかけて実施されます。年末年始は道路の交通量が増え、交通事故の危険性が一気に高まります。また、忘年会・新年会といった飲酒の機会も多くなる季節です。飲んだら乗るな、乗るなら飲むな。飲酒運転は絶対にしないでください。この町に住むすべての人が、被害者にも、加害者にもならないために、一人一人が交通マナーを守り、事故のない安全安心なまちづくりを心がけましょう。  
**【問】** 総務課 ☎(56)2220

わたしタイからお嫁にきました！ サウイトリーさん  
伝統ある川根茶のより一層の向上のため頑張っています。愛車は川根自動車さんで満足のいく点検整備をしてもらい、毎日楽しく走っています。  
◀仲むつまじい藤咲さん・サウイトリーさんご夫妻

## 川根自動車株式会社

川根本町上長尾 869-2 TEL:0547(56)0150

### 福祉の仕事に就きたい 就職支援フェアを開催

**県社会福祉人材センター**  
近年、福祉を取り巻く環境が大きく変わりつつある中、福祉の仕事に就労を希望する人を支援するため、福祉職場の採用担当者との面接相談、福祉・介護未経験者への特設就職相談の場を提供するとともに、社会福祉施設や介護保険事業者などの福祉職場の人材確保を目的として、福祉のしごと就職フェアinしずおか・冬「福祉の就職フェア2010」を開催します。

**日時** 1月16日(土) 午後1時～4時  
**会場** 県総合社会福祉会館シズウェル7階 静岡市葵区駿府町1-70  
**内容** 就職面接相談、ハローワーク、特設就職相談、求職相談など  
**対象** 福祉への就職を希望する人(一般および学生)

**求人者** 職員を募集中および来年度職員採用予定がある社会福祉施設・団体および介護保険事業者など  
**その他** 参加費は無料。来場には公共交通機関をご利用ください。参加希望者の申し込みは電話かファクスで受け付けます。  
**【申・問】** 社会福祉法人静岡県社会福祉協議会静岡県社会福祉人材センター ☎054(271)2110 FAX054(272)8831

### 看護師の再就業を支援 準備講習会のお知らせ

**静岡県ナースセンター**  
全国的に看護職員の需要が高まっていますが、看護職員数は慢性的な不足状態にあります。看護師資格を持ちながら家庭にいる人の現場復帰をお手伝いするため看護師再就業準備講習会を実施しています。1人でも多く看護の

現場に復帰してもらうため、県ナースセンターが再就業のお手伝いをします。  
**日時** 2月3、4、5日の3日間  
**場所** 県看護協会会館第1会議室 静岡市駿河区南町14-25エスパティオ  
**時間** 午前9時～午後4時  
**内容** 講義と簡単な実技で看護の魅力や最近の看護の動向、看護の基礎技術を学びます。  
**対象** 看護の仕事をしていない看護職免許保有者(定員20人)  
**申込方法** 所定の用紙で受け付けします。県ナースセンターまで請求してください(電話・ファクス・Eメール)。  
**【申・問】** 静岡県ナースセンター ☎054(202)1761 FAX054(202)1762 e-mail shizuoka@nurse-center.net

### 伸びる企業の人材確保 セミナーを開催12・8

**静岡県社会保険労務士会**  
県社会保険労務士会では次の内容のセミナーを開催します。有期雇用から正社員へ転換する制度の成功例を社労士が紹介。就業形態の多様化に対応した労務管理のポイント、助成金、雇用管理のガイドラインを解説。セミナー終了後には無料相談会も実施します。参加は無料です。経営者の皆さん、ぜひご参加ください。  
**日時** 12月8日(火) 午後1時30分～  
**場所** 県総合研修所もくせい会館 静岡市葵区鷹匠3-6-1  
**【問】** 静岡県社会保険労務士会 ☎054(247)5920 FAX054(247)4795

### こんばんわ会主催 年末年始の「道しるべ灯」

**【問】** 事務局：井口昌彦 ☎(59)3776  
こんばんわ会は、千頭・小長井・徳山の有志でつくるまちづくりの会です。昨年初めて開催し、皆さんから好評をいただいた年末年始の「道しるべ灯」を今年も開催します。皆さん、ほのかな灯りを見ながらゆく年を振り返り、くる年に思いを馳せてみませんか。点灯式は27日午後5時から開催。皆さん遊びに来てください。大晦日の31日には、わたしたちが豚汁やお汁粉(予定)など、無料で振る舞います。みんなで一緒に新しい年を祝いましょう。



[www.town.kawanehon.shizuoka.jp](http://www.town.kawanehon.shizuoka.jp) つづきはwebで

## あなたの知らない川根本町がここに

広報かわねほんちょうでは間に合わない最新のお知らせ、紙面に掲載しきれないまちの話題が満載。川根本町の「今」を知る川根本町ホームページをご覧ください。



### ピアノ発表会のご案内 \*Music Concert\*

**【問】** 高畑道子 ☎(56)1031 FAX(56)1047

みんなおいでよ♪  
**12月19日(土)** 午後1時30分開場  
午後2時開演  
文化会館ホール(入場無料)



プログラムを一部ご紹介。ピアノソロではミッキー・マウスマーチ、アヴェ・マリア、エリーゼのために、パウムクーヘンほか数曲、ピアノ連弾ではイン・ザ・ムード、花のワルツ、私のお気に入りなど、ジャズを交えてお届けします。そのほか、昨年ピアノコンクール、歌のコンクール出演者がエントリ一曲を披露。弾き語りもあります。皆さん、お気軽に会場に足を運びください。ピアノの音色に癒されること間違いなしですよ♪

今月の納期  
税務課  
☎(56)2223

固定資産税・第3期分 国民健康保険税・第6期分

納期限は12月28日です。口座振替の方は12月28日に引き落とされますので残高の確認をお願いします。

## より良い品を より安く オザワマート

11000ポイント交換は、平成21年12月12・13日です

- 土曜日・日曜日にオザワマートのプリペイドは1万円で10,600円に！ 600円お得です！
- 日曜日・月曜日に2,000円以上お買い上げのレシートで、木曜日にお得なサービスがあります



森下七聖ちゃん

父：忠明・母：真弓

1歳のお誕生日おめでとう♡  
ななせちゃんと呼ぶと「ハーイ」と言わんばかりに、右手を挙げてニッコリ笑うあなたの仕草に家族みんなが癒されます。これからも、心やさしい女の子に育ってね。

H20・11・22生 地名



澤本ひよりちゃん

父：英季・母：佳弥子

ひより誕生日おめでとう。  
食べること、歩くことが大好きだね。  
ひよりの仕草や笑顔にみんなメロメロだよ。元気で健やかに成長してね^v^

H20・11・23生 高郷

みんなの笑顔が、まちを元気にするよ^v^

birthday

つれづれなるままに  
編集後記

▼本号の特集記事を書いているわたしでさえ、8月の地震の恐怖はすでに薄れつつある。静岡県人は「東海地震説」の影響もあるかもしれない。来る来ると言われながら、まったく来る様子がないから安心していいのだろうか。今突然、大地震に襲われることもあると考えると、8月の地震の恐怖が、まざまざとよみがえってきた。何かせずにはいられない。防災グッズを見直して、家の中を見渡して、避難場所を確認して、災害伝言ダイヤルの使い方を覚えて…。やるべきことはいくらかもある。大規模災害に襲われたとき、この町から一人も被害者を出したくない。そんな思いで本特集に取り組んだ。今すべきことを、身近な人と話し合ってみよう。

▼神楽フェスで巻末4ページ。全出演団体をどのように掲載するか、どうやって迫力を伝えたいか、かなり悩んだ。少しは現場の雰囲気や伝わる紙面になっただろうか…。

小笠原聡

afterword

お誕生おめでとう

地区	氏名	性別	保護者
千頭東	中村陽斗	男	直人
徳山	長谷川新汰	男	直紀
徳山	大塚新心	女	信哉

ご結婚おめでとう

地区	氏名	前住所
上長尾	加藤慎一	上長尾
	松澤綾	菊川市

おくやみ申し上げます

地区	氏名	享年	届出人
接岨	後藤房枝	86	知久
大間	八木四志男	73	久子
奥泉	坂本喜藏	84	かよ
奥泉	坂本幸夫	82	まつ
小長井東	堀田りん	89	清隆
上岸	中村俱弘	88	とし
青部	澤田つゆ	78	貢
上長尾	白澤健	73	さか江
高郷	小澤いさ	92	雅司
高郷	山本猪作	100	隆義
地名	中原さかえ	99	惣一郎
田野口	鈴木慶作	80	靖之
徳山	倉田徳明	78	明良

■戸籍欄に掲載を希望されない場合は、届出時に窓口でお伝えください。

■前々月に届け出された出生・婚姻・死亡の届け出の内、本町に住所があり本町の窓口（本庁・総合支所）で受け付けた分のみ掲載しています。

生活健康課 ☎ (56) 2222

family registration

大切な森を育てるための間伐作業

川根高等学校 杉田雅也（2年）

初めての経験の連続

わたしは、初めて学校林に行き、間伐作業を体験しました。行く前は、中学生のころに険しい山を登った経験があるので「何とか行けるだろう」と甘く考えていました。しかし山に登り始めると、いきなり急な坂道が出現し、足がパンパンに、またつりそうになりました。そして山に登っている最中に、息が切れてしまいました。

ギリがつかえてしまい、大変な思いをしました。チェーンソーを使ったときは、木が気分が良く作業することができました。しかしチェーンソーは、便利な道具であると同時に危険で怖い道具でもあると知りました。

考え変わった間伐作業

何とか目的地に到着し、各グループに分かれて間伐作業を実施しました。木を伐るのは初めての経験で、すごく戸惑いました。しかし講師の話をよく聞いてみると、間伐は命にかかわる仕事だと分かり、すごく慎重に作業するようになりまし。普段ノコギリを使う機会はありません。木を伐っているとき途中で、ノコ

わたしは以前から、木を伐ることは環境に対して良くないことだと思っていました。しかし、必要のない木を伐り、周りの草木に光を当てることで森は育ちます。そういつた意味で今回実施した間伐は、とても大切な作業なんだと思いました。また、わたしたちが日常飲んでいる水も、山で育つ木から出てきているものとして、木・森はとても大切なものだと思います。大変



最後にありますが、登山中にゴミが落ちていて少しいやな気分になりました。ゴミのない山や町になればいいと思うと同時に、わたし自身も環境には十分気を配るようにしていきたいと思いました。

◀グループで協力して木を倒す。全員が力を合わせないと大変な作業だ

間伐作業を体験することで、森を育てる大切さを知ったと話す杉田雅也さん▶



column

眼科患者さん無料送迎いたします。

ご近所から、当院まで送迎車にて無料送迎いたします。  
ご予約は電話にてお願いします。  
(当院に初めて受診される方もご利用いただけます)

島田眼科クリニック

住所：島田市日之出町3-9  
島田駅から徒歩1分  
☎0547-37-0431  
診療時間：午前9時～12時、午後2時～6時  
(休診日：水曜、第2・第4日曜日、祝日)

小売りいたします お気軽にどうぞ  
町内への配達もいたします

# 茶新坂本園

川根本町上岸110 ☎0547-59-2155

墓石・燈籠・各種石材加工

# 藤田石材店

川根本町上長尾861-35 ☎0547-56-1177  
http://www.citydo.com/sp/0547-56-1177





中川根南部小児童による和楽器演奏 (特別出演)

田代神楽保存会 (川根本町) 徳山古典芸能保存会 (川根本町) 清沢神楽保存会・笛披露 (静岡市) 諸沢神楽保存会 (静岡市) 川島神楽連 (熊本県) 杉沢比山連中 (山形県) 加殿神楽保存会 (伊豆市) 遠山霜月祭和田保存会 (長野県) 梶矢神楽団 (広島県)

# 舞い降りた

国民文化祭しずおか2009 神楽フェスティバル



1 梶矢神楽団の「鍾馗」。迫力ある鬼の面と所作は、大人でも恐ろしく感じる 2 徳山古典芸能保存会による四座の舞。小中学生とは思えないほど大人びた表情 3 杉沢比山連中の「狸々」。刀を口にくわえ逆立ちして舞台を動き回る。舞い手は終了後、裏で倒れ込むほど消耗する 4 清沢神楽の「須佐之男の舞」。荒ぶる須佐之男を鎮め、無病息災などを祈願する 5 徳山古典芸能保存会の「火の舞」。両手に松明を持ち、荒々しく振り回す。その迫力に誰もが言葉をなくす 6 舞を支える笛や太鼓も大切な神楽の一部 7 田代神楽最後の演目「狩人」。滑稽なやりとりで会場中が沸いた



# そして深まる人々の絆

PhotoReport 10・25sun▶26mon

## 全国の神々が集い、夢の競演を繰り広げる

静岡県初の開催となる「国民文化祭しずおか2009」。県内ほぼ全市町が参加したこの国内最大級の催しで川根本町は、神楽の祭典「神楽フェスティバル」を開催した。

神楽は、古来から農村に生きる人々の手によって守り伝えられてきた大切な神事。であると同時に、人々が生きる喜びを分かち合う、絆を深め合う場でもあった。

神楽フェスティバルは、駿河神楽が数多く伝承されている本町の特徴を生かし、全国の神楽同士の交流や連携を目的として企画された。多くの人が参加し、かわり合って催しは形づくられていった。

全国から18もの神楽団体が催しの主旨に賛同し、10月25日この地に集った。

## 神楽フェスティバル(25日)

神楽フェスティバルは10月25日、本川根小体育館で幕を開けた。中川根南部小児童による歓迎の和楽器演奏や、「神楽は土地の光となり得るのか」と題した神楽シンポジウムが開かれ、大勢の来場者がつめかけた。

舞台を田代大井神社に移しスタートした神楽の演舞。始まりは梶矢神楽団の「鍾馗」。鍾馗大神が大疫神を退治する物語を舞で表現する鬼舞の一種。豪快な所作が、来場者の目を一瞬で釘付けにした。ある来場者は「プロの舞い手かと思うほどの迫力。一番疲れているはずの終盤に、一番激しく回転するなんて思わなかった」と話していた。

続々と続く、特色ある神々の舞。舞台中央に竈を仕立て、その周りを舞う湯立ての舞や、逆立ちして舞台狭しと動き回る舞、両手の松明を一心不乱に振り回す火の舞など、一つとして同じ神楽はなかった。来場者は、ただ圧倒され、魅了された。

この日最後の登場は田代神楽保存会。6年ぶりの復活を遂げた「駒の舞」では、中学生男子3人が息の合った舞を披露し、来場者から大きな拍手が送られた。最後の演目「狩人」では、狩人と土地の者が愉快な問答を繰り広げ、あちこちから大きな笑いが沸き起こった。すべての演目が終了したあとも、拍手はいつまでも鳴り止まなかった。

神楽シンポジウム…神楽フェスティバルを監修した八木洋行氏(日本民俗学会会員)がコーディネーターを務め、各地に伝わる神楽の特長や性質、それぞれが持つ可能性などを追求した。パネラーは愛知県花祭会館伊藤勝文氏、山形県杉沢比山連中代表小野寺幸七氏、梅津神楽保存会代表筑地宣氏

interview

来場者



高山欣也さん（静岡市）

国民文化祭のパンフレットで、神楽フェスティバルの記事を見てこれだと思いました。すぐにこちらの観光協会に問い合わせたんですよ。わたしは写真が好きで、今回面白い写真が撮れたらいいあと期待しています。2日間こちらに滞在して、神楽の世界を満喫しています。

interview

来場者

山崎隆夫さん、飯田収さん（静岡市）



わたしたちは、1日目に偶然席が隣同士になった縁で仲良くなりました。神楽フェスティバルは、普段見ることができない全国各地の神楽を多数見ることができる貴重な機会。とても楽しく拝見しました。1日目の最後を飾った田代神楽保存会の「狩人」。あれは最高ですね。地域の大切な宝として今後も残してほしいですね。

interview

ボランティアスタッフ



榎原さつきさん（水川・写真右から3人目）

わたしはこういったイベントでは、観客としてよりもスタッフとして参加の方が好きなんです。いろんな人と会ったり、話ができたり、運営の裏側を見ることができたり。みんなできっていく楽しさもありますよね。何より終わったときの達成感は何ものにも代え難い喜びです。神楽フェスは初めての開催ということで、段取りなど戸惑うこともありました。でも最後に、来場された方が「ありがとう」って声をかけてくれたんです。この催しに参加して、本当に良かったなあと考えた瞬間でした。

笹間神楽の優雅な舞



梅津神楽 太刀を激しく振り回す



福餅まきを終えて



相模里神楽垣澤社中の迫力のぬえ退治



# そして深まる人々の絆

国民文化祭しずおか2009神楽フェスティバル  
PhotoReport 10・25sun▶26mon



2日目トップバッターの津野山神楽「山探し」。金山彦の使いの神（般若の面）が、なくなった宝剣を探するため舞台上を練り歩く。無事宝剣を見つけ出すと、宝剣を振り回し喜びを身体全体で表現した。会場には一斉にカメラのシャッター音が響いた。

2日目（26日）

舞台を再び、本川根小体育館に移して開催された2日目。館内は、大勢の来場者や招待された小中学生などであふれかえった。

2日目は9団体が神楽を披露。全国各地に伝わる神々の舞が、舞台狭しと繰り広げられた。2日間続けて最前列でカメラを構える高山欣也さん（静岡市）は開演前、「昨日に引き続いて来ました。面白い写真が撮れたらうれしいですね」と話していた。

オープニングは高知県梶原町の津野山神楽保存会による「山探し」。般若の面を付けた金山彦の使いの神が、宝剣を探して不安げに歩き回る。来場者は固唾をのんで、その姿を見守った。

このあと、遠く青森県から来町した中居林太神楽が登場。大人と子どもで構成される獅子舞が、舞台を降りて会場内を練り歩く。来場者からは「こつちにも来て」と声が上がった。

各地の特色ある神楽が披露され、最後に舞台上上がったのは梅津神楽保存会。がったのは梅津神楽保存会。豪快に刀を振り回す八王子の舞や、地元中学生女子3人の姿もしなやかな八幡の舞、迫力ある面の鬼の舞など3演舞を披露。会場内に拍手の音が響き渡った。

今回の神楽フェスティバルは、神楽を披露し合うだけではなく、伝承する者同士との交流も深まったと、徳山古典芸能保存会の山下忠之さんは言った。

「梶矢神楽団は所在地を安芸高田市高宮町川根といい、ここと同じ名前なんです。その縁もあり以前お邪魔したことがありました。今回梶矢神楽団の皆さんは、特産品のゆず製品を持参してきてくれました。そういった全国の神楽保存会の皆さんと話ができて、交流を深め合うことができました。」

神楽が生んだ、さまざまな「絆」の形。それは人と人を結び、地域と地域とを結び付けていた。全国各地で大切に守り伝えられている神楽。「交流」という、新たな可能性が見えた2日間だった。

# 舞い降りた神々

梅津神楽保存会（川根本町）

笹間神楽保存会（島田市）

口坂本・横浜・大日神楽保存会（静岡市）

相模里神楽垣澤社中（神奈川県）

中設楽花祭り保存会（愛知県）

赤石太鼓保存会（特別出演）

井川神楽同志会（静岡市）

備中神楽成羽保存会（岡山市）

中居林太神楽（青森県）

梶原町津野山神楽保存会（高知県）



緑のふるさと協力隊員・千葉遥加の奮闘記

# 風ノハルカ

Chiba Haruka volume5

## 川根本町の魅力をさらに見つけていきたい

秋も深まり、だんだん朝晩の冷え込みが強くなってきました。紅葉の季節です。私の実家のほうには一切山がなく、人の服装を見て今の季節を知るぐらいなのですが、川根にいと数分散歩しているだけで木の実や葉の色で四季を感じることができます。

\* \* \* \* \*

先日「千年の学校」の一環で、本町のお宝発見ツアーに行き、接岨から原山まで丸一日かけて見てまわりました。まず奥泉から接岨峡温泉駅まで井川線に乗りました。夏にも一度井川線に乗ったのですが、そのときは山の色合いがまったく違い、特にダム湖水面に移った色がとてもきれいで目に楽しかったです。

井川線乗車後に八橋小道へ。大石博人さんの説明を聞きながらのウォーキングです。階段の段差が絶妙で、高すぎもせず低すぎもせず、ちょうどいい歩幅で歩けるので疲れにくく感じました。近くから聞こえる沢の音が、歩いて暑くなってきたところに響き、心地よかったです。

天狗石茶屋で美味しいお弁当を食べて一服した後、また移動。次は平田の大石博人邸に。入ると小さなワンコがお出迎えてくれました。新しくつくったというはなれを見せてもらい、犬間釈迦堂で地区の説明を聞きました。はなれは新しい木の香りを漂わせていて、囲炉裏もある素敵な建物でした。こんなところに住んでみたいなあと思いました。

徳山の愛宕地蔵堂に移動し、長濱寛二郎さんの話を聞きました。巨大数珠を見たり、子宝、安産に効き目のあるお堂や年代物の常夜燈も見学しました。

そしていよいよ天空の茶産地、ヒロヲ地区大茶園に。植えてあるすべてのお茶がおくひかりという画期的な茶畑、何回見ても圧巻の一言です。高地だけあって、空や山がとてもきれい。そんな素敵な環境の中で作られている赤ラベル奥光、黒ラベル奥光の飲み比べをしました。どちらもとってもおいしかったです。

\* \* \* \* \*

このお宝発見ツアーで「本町は広い」とあらためて感じました。初めて行く場所も多くて楽しかったです。

これから残された活動期間で、この町の魅力をさらに見つけていきたいと思っています。

## 千葉遥加（ちばはるか）

千葉県柏市出身 緑のふるさと協力隊員第16期生

### 緑のふるさと協力隊とは

特定非営利活動法人地球緑化センターが実施する、農山村に興味を持つ若者を、地方自治体に一年間派遣する事業。協力隊員たちは、農林畜産業など担い手が不足する第1次産業や、新しい刺激を求めている観光施設などで、隊員活動に励み、地域の活性化に貢献する。遥加さんは第16期生、川根本町3代目の隊員。

